

「産学コラボネット」発足

静岡理工大 企業連携で技術開発へ

袋井市豊沢の静岡理工大は、このほど、地元企業と連携して技術開発と人材育成を推進する組織「産学コラボネット」を設立した。工業技術や農業振興、情報サービスなど四つの部会を設け、教授らの研究発表や会員企業の見学会、インターシップなどを積極的に開催していく方針。

同大で開かれた設立総会には、県西部を中心に製造業など約50社の代表者が参加した。講演会開催や会員企業対象のアンケート調査実施など、本年度の活動計画を確認した。同組織の初代会長に就任した野口博学長は「企業の皆さまと大学教職員が緊密に話し合える場として展開したい」とあいさつした。



設立趣旨を説明する野口学長(右)

静岡理工大 袋井市豊沢

参加した各企業の代表者からは「先生の具体的な研究内容を教えてほしい」「製品化や流通について助言してほしい」などの意見が上がった。